

ガーデニング



庭木の植えつけ方と施肥

購入した苗木や成木を植える場合、時期や植え方のポイントさえ、間違わなければ初めてでも植樹を失敗することはありません。自分で植えた樹木の成長を見るのはたいへん楽しいもの。ぜひチャレンジしてみてください。

移植の適期

●針葉樹

地方差があるが標準的な適期は3月～4月上旬と9月～10月の間。1m程度の苗木なら根に土がついてなくても活着がよいが、植えてから年数のたっている木は1年前に根回しをして細根を出してから植え替えるようにする。

●常緑広葉樹

芽出し前の3月中旬～4月、新梢が固まる6月～7月と9月中旬～10月が適期。ただし、梅雨の6～7月は空中湿度が高いので移植、植え替えに向いている一方、根鉢が壊れたもの、根が少ないもの、大木は植え付け後の新根が伸びにくく、その間に夏を迎えるため活着が悪くなることもあるので注意を。また、秋の植え替えもあまり遅い時期にならないように。

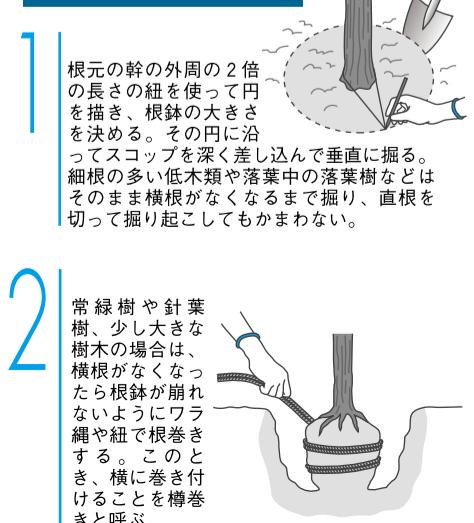
●落葉広葉樹

落葉期の11月～3月が適期。ただし、一般的には厳寒期は避けるように。早春に花が咲くものやボケ、カイドウ、リンゴなど根頭がんじゅ病にかかりやすい樹木は11月～12月に、サルスベリ、ノウゼンカズラ、フヨウなど暖地性花木は3月の彼岸過ぎに行なうようにする。

移植のしかた

大きくなつて周囲の木と込み合つてきたり、また庭をつくり変えたりする場合などに庭木を移し変えることを移植といいます。購入した苗木などを植えつけるのと違い、現在生育している樹木を他の場所に植え替えるには、掘り上げるときに根を傷めないように注意しましょう。しかし、適期さえ守れば、サツキ、アジサイなど細根の多い低木類は根を切りながら掘つて大丈夫。落葉樹も落葉中なら多少乱暴に掘つても問題ありません。常緑樹や針葉樹の場合は、根鉢が壊れないように、寝巻きをしながら掘り起しましよう。ただ、一般家庭で移植できるのは2～3mまでの高さの木が限度と考え、それ以上の木は専門家にまかせたほうが無難です。

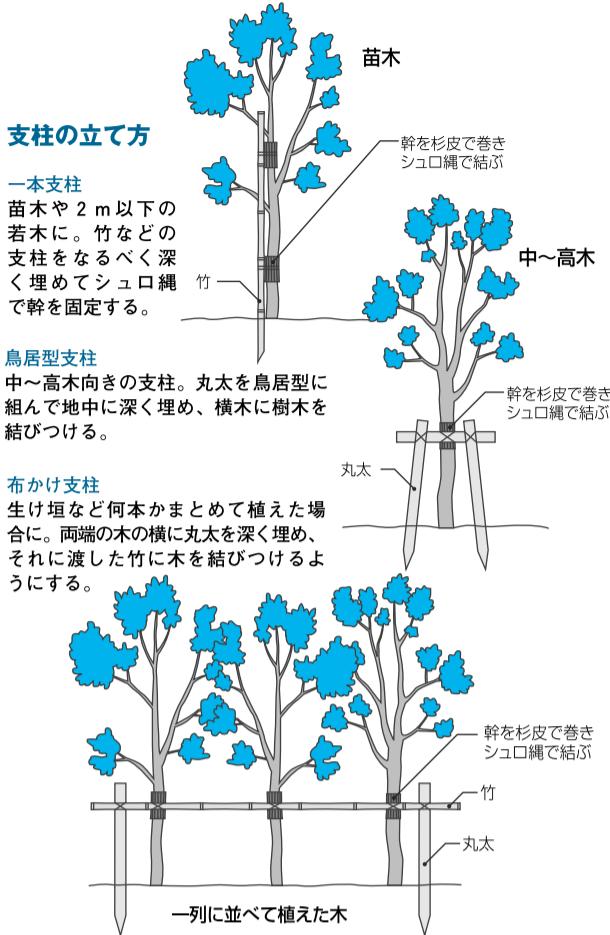
移植のための根の掘り方



植えつけ後の管理

●支柱を立てる

根がしっかり張りまでは、強い風で樹木が倒れたり、幹が揺れて大切な細根が切れて枯れる原因になることもあります。2年ぐらいして木がしっかりと根付くまで支柱で支えてやりましょう。



※いずれの場合も、幹が成長したとき紐がくいこんだり、傷つくのを防ぐため、幹の周囲を杉皮などで巻いてからショロ繩で結ぶようにしてください。

●水やり

植えたばかりで根が弱っているときに水をやりすぎると根腐れの原因になるので注意。土の表面が乾いて白くなったらジョウロなどで水やりをするように。

●肥料

弱っている根を与えると根が傷むことがあるので注意。基本的に1～2年は植えつけ時に与えた元肥だけで十分。

庭木の植えつけ方と施肥

One Point Advice

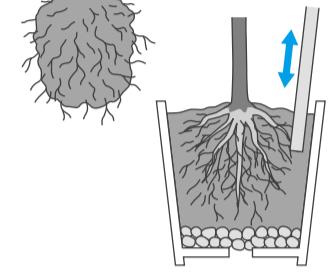
コンテナ栽培の植え替え

鉢やコンテナで栽培している樹木も、根が鉢の中に回り切ったら植え替えが必要となります。

1.鉢から外し、底部、側面の順で根をほぐし、全体の1/2ほどの古土を取り除く。その際、長い根は切り詰める。



2.鉢に、赤玉土：腐葉土：ピートモス：バーライトを同量混合した土に元肥として用土1ℓに対して約3gの緩効化成肥料を混ぜた用土を入れ、株を植え付ける。



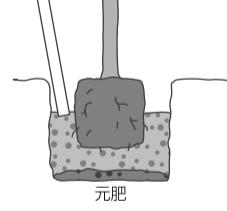
3.鉢壁と根鉢に土がつまるように棒などでつき、最後に鉢を持って、地面などにコツコツ当てて振動を与えて、土を落ちさせる。

4.その後、十分に水を与えて、日陰で1～2週間養生させる。

苗木、成木の植えつけ方

1 根に巻き付けてあるコモ、ワラなどを丁寧に取る。このとき、細根を切らないように注意。根が乾燥している場合は1～2時間、水につけておくようにする。

3 挖った穴に元肥として堆肥をしき込んでから土を埋め戻して、根元と地面との高さを合わせ。そこに樹木を入れ、根の高さの2/3くらいまで土を戻す。成木の場合は、ここで穴に入れた土を棒などでつづいて根と土をよくなじませるようにする。

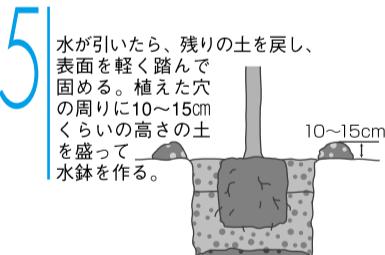


2 植える樹木の根鉢の2倍の大きさの穴を植えたい場所に描き、円に沿って地面を掘る。苗を入れてみて根元が地面より20cmぐらい下になるくらいまで掘ること。

4 ホースなどで、土が泥變成状態になるまでたっぷり水を入れる。



5 水が引いたら、残りの土を戻し、表面を軽く踏んで固める。植えた穴の周りに10～15cmくらいの高さの土を盛って水鉢を作る。



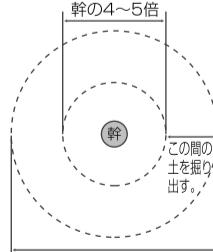
6 支柱を立ててから水鉢に再度、たっぷりの水を入れる。



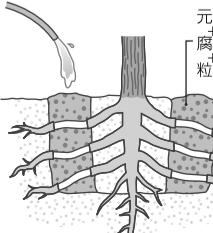
大木になると根元は太根だけになつて細根が少なくなります。そんな樹木の根を植え替えで断根してしまうと、細根がほとんどなくなってしまうので、移植後の活着が悪くなります。また、樹種によっては小さな木でも根があらいためあります。そんな樹木を移植する場合は、前もって根回しを行い、細根を出してから移植するとうまくいきます。

根回しのしかた

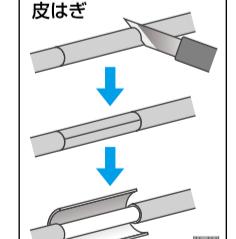
1 幹の直径の4～5倍から幹の直径の8倍の間の土を掘り起こす。このとき、細い根は断根してもかまわない。



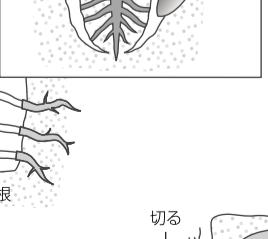
3 根鉢の底をさぐり起したら、上下に巻き付ける。これをあげ巻きと呼ぶ。その後、最後に残った芯の根を切つて掘りあげる。



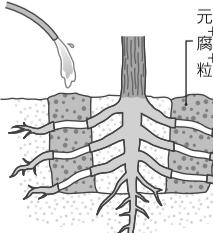
2 太い根の皮をはぎ、木質部を露出させる。このとき、直根はそのままにしておくこと。



小さい若木は3～6ヶ月前にスコップで根を切つておくだけよい



4 根の処理が終わったら、掘りあげた土に腐葉土を1/3、粒状化成肥料を2～3握り加えて混ぜ合わせて元のように埋め戻し、たっぷり水をやる。また、蒸発を防ぐために枝を間引き、倒れないように支柱を立ててやるとい。



4 樹木の種類にもよるが、根回しをして半年から1年後、細根の発生状態を確かめてから、根を切つて掘りあげて移植する。

